

合併趣意書

今般、多摩中央信用金庫、太平信用金庫、八王子信用金庫の3金庫は平成18年1月10日に合併することに合意致しました。

3金庫はそれぞれ独自の歴史と伝統を有しつつも、多摩地域を経営基盤として金庫発足以来、地域の発展のために努力を続けて参りました結果、3金庫を合わせた預金量では約2兆円、融資量では1兆2千億円に達しております。この規模は、全国信用金庫中第8位に相当するものであり、各金庫の長い歴史を通して地域での存在価値を発揮し続け、お客様からの高い評価を重ねてきた証であると自負致しております。

一方、わが国の経済社会構造は劇的に変化し、また、多摩地域も大きな変貌を遂げている中で、われわれ信用金庫もまた真に地域に貢献できるものへと変化していくことがあらゆる面から要請されております。

こうした状況下、3金庫は地元の中小企業の再生、創業支援に取組み、地元経済の活性化に力を発揮することでお客様とともに時代に勝ち、生き抜いていくというビジネスモデルの確立を目指して参りました。多くの皆様のご賛同、ご支持のもと、未だ道半ばではありますが一定の成果を収めるに至り、この方針に強い確信を得ているものであります。

しかしながら、400万の人口、14万の事業所を有し、全国でも有数のポテンシャルのある地域として、これからもさらに大きく変化していくことが確実な多摩地域の今後20年、30年先の将来を見渡したとき、この地域の発展のために十分な貢献を果たしていくためには3金庫の現在の体制では力不足であることも、また否めない事実であります。

時代の変化を見据え、多摩地域の将来を展望すると、各金庫が個々に様々な経営課題に対応していくよりも、お互いが志をひとつにして対応していくことが、地域経済の安定と発展に、より多く資するものであるとの認識を強く持つに至り、ここに3金庫対等の立場で合併の合意を見ることとなりました。

今回の合併は、単なる規模の拡大を求めるものではなく、将来にわたって地域への貢献を果たしていくためのものであります。一時的には解決しなければならない課題もありますが、ひとつの理念、理想の元に結集し、そうした課題を乗り越えることによって、地域、お客様、職員に必ずや幸福をもたらすものと確信致しております。

今後、所定の合併手続きを進め、お客様をはじめ各方面のご協力を得て、一日も早く合併効果が発揮できるよう、役職員一同一丸となって努力して参る覚悟でございます。どうか本合併の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成16年11月1日

多摩中央信用金庫 理事長 佐藤 浩二
太平信用金庫 理事長 鈴木 弘昭
八王子信用金庫 理事長 小笠原 治